



# 創立百周年通信

## 卒業生に送る記念コンサートについて

春寒の候、皆様におかれましてはご清祥にてお過ごしのことと拝察しお喜び申し上げます。このたび、卒業生に送る百周年記念コンサートを実施しましたので、その様子についてご報告いたします。

十勝毎日新聞より

開校100周年の6年生へ、帯広柏小で和光さんと長尾さんの記念コンサート

2021/02/09 16:28



バイオリニストの和光さん（中央）とピアニスト長尾さん（右）の演奏に聴き入る柏小の6年生（塩原真璃撮影）

今年度、開校100周年を迎えた帯広柏小学校（鈴木義秋校長）で9日、3月に卒業する6年生に向けた記念コンサートが開かれた。コロナ禍で全ての記念行事が翌年度に延期される中、児童は地元のバイオリニスト和光真実さん（30）とピアニスト長尾崇人さん（29）が奏でる旋律に詩情を忘れて聴き入った。

市内の小学校で4番目の歴史を誇る同校の6年生71人は、記念式典をはじめとする記念行事の主役となる予定だった。コンサートは100周年の記念事業協賛会（荒木樹会長）が「せめて最後に卒業の思い出をつくってあげたい」と企画した。

クラス担任を通じて児童の好きな曲を仕込んだ和光さんと長尾さんは、体育館の6年生を前に人気アニメ「鬼滅（きめつ）の刃（やいば）」のテーマ曲や情熱大陸など9曲を演奏。NHK連続テレビ小説「エール」の主題歌「星影のエール」では、正面の大型スクリーンに6年間の思い出が詰まった写真が次々と映し出され、涙ぐむ児童もいた。1～5年生は各教室で鑑賞した。

直前までコンサートを知らされていなかった6年生は、全身を使った和光さんの演奏など1曲ごとに拍手を送った。山口とみほさん（12）は「全ての曲が心に残った。最後の映像には泣かずにはいらなかった」。協賛会の荒木会長（49）は「卒業後も柏小の思い出を忘れず、コロナ禍を乗り越えてほしい」と語った。（高田晃太郎）



NHK Web ニュースより

## 卒業生にサプライズコンサート

02月09日 20時18分



新型コロナウイルスの影響で学校行事の中止が相次いだ子どもたちに、思い出を作ってもらおうと帯広市の小学校でコンサートが開かれ、卒業を控えた6年生がプロの演奏家の音色を楽しみました。

帯広市の柏小学校では今年度、創立100周年の記念式典などさまざまな学校行事が新型コロナウイルスの影響で延期や中止を余儀なくされました。このため、来月卒業する6年生に楽しい思い出を作ってもらおうと、地元で活動するプロの演奏家を招いて校内でコンサートが開かれました。コンサートは子どもたちには直前まで知らされないサプライズで開かれ、アニメ「鬼滅の刃」やNHKの連続テレビ小説「エール」の主題歌など9曲がピアノとバイオリンで演奏されました。ステージには6年間の学校行事など思い出の写真も映し出され、子どもたちは学校からの音と映像のプレゼントを楽しんでいました。女子児童は「生で演奏を聞くと迫力が全然違って心に響きました」と話していました。また、男子児童は「いろいろな曲が聞けてとても楽しくて感動しました。一生忘れない思い出になったと思います」と話していました。

### プログラム

彼こそが海賊

校歌

～ アイデア～ 雨のち晴レルヤ～ 猫～ 虹 ～

白日

炎

夜に駆ける

情熱大陸

星影のエール

※曲順は変更になる場合があります。

### 出演者プロフィール

## 贈る言葉

### 「もうすぐ卒業をされる6年生のみなさんへ」

百周年記念事業協賛会会長 荒木 樹

6年間を過ごした小学校生活も、残りわずかとなりました。本当は6年生のみなさんが主役となるはずだった、柏小学校の100年目は、だれも予想できなかった歴史に残る大変な年になってしまいました。コロナウイルスのために、学校が長期に休校になったり、行事が中止や小さくなったりしました。大人もふくめて誰も経験したことのない大事件であり、みなさんにとっても、がっかりさせられる1年になってしまったことと思います。柏小学校100周年の行事は全くできませんでしたが、柏小学校の多くの卒業生や父母の会のご協力で、本日、記念コンサートを開くことができました。ささやかなイベントではありますが、せめて最後に、卒業の思い出にしていいただければ幸いです。

卒業後も、柏小学校の思い出を忘れないでください。そして将来は、今度は小さい子どもたちを支える立場になっていただけるように期待しています。

### 「未来を拓く人に」

帯広市立柏小学校 校長 鈴木 義秋

6年生の皆さん、卒業が間近に迫って来ましたね。次第に卒業、進学へのうれしさや、小学校を離れる寂しさなど、複雑な気持ちが沸いてくる頃ではないでしょうか。この1年間はコロナ禍のため、新しい生活様式などの様々な制約がある中、安全を第一とする生活が続きました。小学校最後の1年間だというのに、今までできていたことができなくなり、とても申し訳なく思います。そのような中でも、最後まで全力で走ったリレーや、みんなでルールを守って安全に過ごした修学旅行、よりよい学校にするために主体的に取り組んだ児童会活動など、力を発揮した皆さんの姿は、柏小の6年生として値するものでした。

中学校に進学しても、この状況はしばらく続くかもしれませんし、社会は急速に変化していくことと思います。しかし、柏小で学んだことと、柏小100周年の6年生であることを忘れず、未来を切り拓く素敵な人へと成長していってください。ずっと応援しています。

令和3年10月17日の百周年記念式典に向け、今後も情勢をみながら、開催方法等を検討して参ります。随時お知らせしていきますので、ご了承ください。